



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 アトム
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 恵輔

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 春名 秀樹

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,819	0.7	425	51.1	459	46.5	546	
2019年3月期第2四半期	25,992	3.0	871	12.4	858	16.5	256	16.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 528百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 271百万円 (13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.16	
2019年3月期第2四半期	1.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	29,921	14,419	48.2	56.42
2019年3月期	29,453	15,385	52.2	61.47

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,419百万円 2019年3月期 15,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,281	0.7	1,643	2.8	1,662	2.0	524		3.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年10月31日)公表の「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	184,559,297 株	2019年3月期	184,559,297 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	472,139 株	2019年3月期	471,989 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	184,087,230 株	2019年3月期2Q	184,087,817 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

※ 当社は、下記のとおり投資家向けの説明会を開催する予定です。
 2019年11月11日(月)・・・・・・機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、米中の貿易摩擦の長期化による海外経済の低迷が懸念される中、国内経済に目を向けると、労働力人口低減の常態化に伴う人件費の高騰に加え、消費増税後の国内消費低迷の影響と合わせて依然として先行きが不透明な状況が続いております。

上記の経済環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が258億19百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益が4億25百万円（同51.1%減）、経常利益が4億59百万円（同46.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失が5億46百万円（前年同期は2億56百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間において新規出店を3店舗、ブランド変更を6店舗、改装を2店舗行い、不採算店10店舗及びFC契約終了により1店舗を閉鎖、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は467店舗（直営店453店舗、FC店14店舗）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新店2店舗（「ステーキ宮」）、ブランド変更を4店舗（「炭火ダイニング 暖」から「カルビ大将」へ1店舗、「甘太郎」から「カルビ大将」へ3店舗）、改装を1店舗（ステーキ宮）、不採算店8店舗（「ステーキ宮」6店舗、「徳兵衛」1店舗、「風神社中」1店舗）の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は276店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、179億90百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、新店1店舗（「やきとりセンター」）、ブランド変更を2店舗（「ラパウザ」から「やきとりセンター」へ1店舗、「いろはにほへと」から「やきとりセンター」へ1店舗）、改装を1店舗（「ねねや」）、不採算店2店舗（「甘太郎」1店舗、「いろはにほへと」1店舗）の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は145店舗であります。

以上の結果、居酒屋事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、61億94百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

<カラオケ事業>

カラオケ事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は32店舗であります。

カラオケ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、12億22百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、契約終了により1店舗（「徳兵衛」）の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店14店舗であります。

その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、4億11百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億68百万円増加し、299億21百万円となりました。その要因は現金及び預金を主とした流動資産の増加11億69百万円、建物及び構築物を主とした固定資産の減少7億円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億34百万円増加し、155億2百万円となりました。その要因は短期借入金を主とした流動負債の増加19億30百万円、長期借入金を主とした固定負債の減少4億96百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ9億65百万円減少し、144億19百万円となりました。その要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は59億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17億19百万円となりました。

これは主に減価償却費の計上(8億70百万円)、減損損失の計上(5億87百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億70百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(6億35百万円)及び敷金及び保証金の回収による収入(2億35百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億23百万円となりました。

これは主に短期借入金の純増減額(14億30百万円)、長期借入金の返済による支出(7億36百万円)、リース債務の返済による支出(3億80百万円)、配当金の支払額(4億36百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、台風などの天候不順、洪水等の自然災害の影響もあり、売上高は前回発表の予想を下回る見込みです。また、固定費等の削減に努めておりますが、人件費等の高騰を吸収しきれず、さらに、減損損失の発生も見込まれることから、売上高は52,281百万円、営業利益は1,643百万円、経常利益は1,662百万円、親会社株主に帰属する当期純損失524百万円に修正致します。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845	5,970
売掛金	1,002	880
たな卸資産	368	383
その他	712	863
流動資産合計	6,928	8,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,133	8,718
土地	2,947	2,947
その他(純額)	1,978	2,034
有形固定資産合計	14,058	13,699
無形固定資産		
のれん	481	421
その他	77	98
無形固定資産合計	558	519
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,027	5,862
その他	1,906	1,769
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	7,907	7,605
固定資産合計	22,524	21,824
資産合計	29,453	29,921
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,065	3,312
短期借入金	—	1,430
1年内返済予定の長期借入金	1,436	1,277
未払法人税等	425	524
販売促進引当金	553	575
引当金	2	189
その他	3,561	3,666
流動負債合計	9,044	10,975
固定負債		
長期借入金	2,544	1,967
資産除去債務	1,234	1,250
その他	1,244	1,309
固定負債合計	5,023	4,526
負債合計	14,067	15,502

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073	4,073
資本剰余金	7,116	7,116
利益剰余金	4,417	3,433
自己株式	△190	△190
株主資本合計	15,416	14,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31	△12
その他の包括利益累計額合計	△31	△12
純資産合計	15,385	14,419
負債純資産合計	29,453	29,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	25,992	25,819
売上原価	8,541	8,663
売上総利益	17,451	17,156
販売費及び一般管理費	16,580	16,730
営業利益	871	425
営業外収益		
不動産賃貸料	73	70
協賛金収入	1	33
その他	25	36
営業外収益合計	100	140
営業外費用		
支払利息	47	40
不動産賃貸原価	62	60
その他	3	6
営業外費用合計	113	106
経常利益	858	459
特別利益		
固定資産売却益	8	8
受取補償金	30	106
特別利益合計	39	114
特別損失		
固定資産除却損	30	23
減損損失	41	587
賃貸借契約解約損	11	1
災害による損失	41	6
その他	15	44
特別損失合計	140	663
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	757	△89
法人税、住民税及び事業税	462	358
法人税等調整額	38	98
法人税等合計	501	457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	256	△546
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	256	△546

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	256	△546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	18
その他の包括利益合計	14	18
四半期包括利益	271	△528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	271	△528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	757	△89
減価償却費	952	870
のれん償却額	59	59
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	161
販売促進引当金の増減額(△は減少)	15	22
支払利息	47	40
固定資産売却損益(△は益)	△8	△8
固定資産除却損	30	23
災害損失	41	6
減損損失	41	587
受取補償金	△30	△106
売上債権の増減額(△は増加)	106	122
たな卸資産の増減額(△は増加)	19	△15
仕入債務の増減額(△は減少)	186	246
未払消費税等の増減額(△は減少)	△83	15
その他	1	83
小計	2,140	2,020
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△47	△41
補償金の受取額	30	—
法人税等の支払額	△824	△263
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,302	1,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356	△635
有形固定資産の売却による収入	135	75
敷金及び保証金の差入による支出	△65	△101
敷金及び保証金の回収による収入	126	235
その他	△13	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,430
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△426	△380
長期借入金の返済による支出	△1,034	△736
配当金の支払額	△434	△436
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,896	△123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△767	1,125
現金及び現金同等物の期首残高	5,747	4,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,979	5,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。